

2015年2月11日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年6号)

北部地区で銃撃戦が連続発生

2月9日(月)夜、リオ市北部地域のファベラ(貧民街)3か所において、UPP(軍警察治安構築部隊)と麻薬組織との銃撃戦が連続発生しました。

カーニバルを控えて、軍警察は治安改善のための特別作戦を推進しており、今後も同様の銃撃戦が発生することが懸念されます。

- ① 2月9日(月)夜(詳細な時間は不明)、リオ市北部地域、チジュカ地区サルゲイロ(Salgueiro)ファベラにおいて、軍警察とスラム街住人との銃撃戦が発生し、容疑者1人が死亡、軍警察官2人が負傷した。
容疑者の死亡が確認された後、同ファベラ住人らが抗議行動を起こし、バス1台に火をつけたほか、UPP部隊駐留所に向けて発砲するなどした。
- ② 2月9日(月)午後9時頃、リオ市北部地域リオ・コンプリド地区トゥラノ(Turano)ファベラにおいて、UPPによる掃討作戦に伴い、軍警察と麻薬組織との銃撃戦に発展し、容疑者1人が死亡、1人が負傷した。同作戦を通じて、軍警察は容疑者2人を逮捕し、複数の拳銃と無線機を押収した。
- ③ 2月9日(月)夜(詳細な時間は不明)、リオ市セントロ地区プロビデンシア(Providencia)ファベラのペドラ・リサ(Pedra Lisa)広場において銃撃戦が発生し、軍警察特別作戦課の警察官が負傷した。

【当館からのアドバイス】

- セントロ地区以北のメトロ駅周辺では、路上強盗等の街頭犯罪、銃撃戦等が頻発しています。セントロ地区以北の地下鉄利用はできる限り避けるようにしましょう。
- 拳銃を使用した事件が身近なところで多発していることを認識し、深夜の外出は極力控えるとともに、夜間は短い距離であっても徒歩で移動せず、車やタクシーを使用してください。